

Ⅲ 歯科疾患実態調査結果の概要

Ⅲ 歯科疾患実態調査結果の概要

概 説

本調査結果については、過去2回（平成7年度、平成12年度）にわたって実施した調査結果と比較、検討を行った。各調査内容別にみた本調査結果の概要は以下のとおりである。

1) 歯科健康診査による調査結果

(1) 20歯以上の歯を有する者

80歳以上で20歯以上を有する者は、19.4%であった。前回調査に比べて2.5ポイント増加している。

(2) 一人平均現在歯数

80歳以上の一人平均現在歯数は、9.0本である。過去2回の調査に比べ、ほぼすべての年代において増加傾向がみられる。過去の調査と同様に60歳代で20本を下回っている。

(3) 残っている歯の状況

・健全歯の状況

前回調査に比べ20歳代から50歳代においては、増加傾向であるが60歳代より若干減少傾向である。性別で見るとすべての年代において、女性の方が県平均より下回っている。

・むし歯の状況

むし歯に罹っている者の割合は、前回調査に比べ20歳代、30歳代において減少傾向にあるが40歳代より増加傾向である。特に70歳代では87.2%で7.5ポイント高い率を示している。

・未処置歯の状況

未処置歯を有する者の割合は、前回調査に比べすべての年代において減少傾向にあるが、80歳以上については、現在歯が増加したためか増加傾向にある。

・処置歯の状況

一人平均処置歯数は、前回調査に比べて20歳代で2.3本、30歳代で0.7本少ないが40歳代より若干増加傾向にある。

・喪失歯の状況

喪失歯のある者の割合は、前回調査に比べすべての年代において減少傾向にある。特に30歳代で16.1ポイント、40歳代で13.9ポイント減少している。

(4) 補綴の状況

前回調査に比べて補綴完了者が58.3%で13.3ポイント増加している。全体の約6割の者が、補綴完了をしている。また、喪失した歯に対する歯科治療については、改善されていることを示している。

(5) 歯周病の状況

歯周炎に罹っている者の割合は、前回調査に比べ60歳代、70歳代について現在歯が増加したためか増加傾向にある。ほかの年代については、減少傾向にあり、特に40歳代では22.4%で8.8ポイント、50歳代では35.4%で11.1ポイントの減少を示している。

1 被調査者の状況

被調査者数は、2,751人（男性1,489人 女性1,262人）であった。性・年齢別区分別の内訳人数は、下表のとおりである。

被調査者数

(単位：人)

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計	合計	
1	地区調査 (各保健所管内 別人口比により 抽出した者)	男性	3	5	5	8	21	24	29	10	105	762
		女性	3	4	9	16	30	26	31	9	128	
		計	6	9	14	24	51	50	60	19	233	
	地区調査 (その他)	男性	0	0	0	0	0	77	99	43	219	
		女性	0	0	0	0	1	98	141	70	310	
		計	0	0	0	0	1	175	240	113	529	
2	事業所	男性	20	244	317	330	220	29	3	2	1,165	1,989
		女性	21	263	189	207	135	8	1	0	824	
		計	41	507	506	537	355	37	4	2	1,989	
合計		男性	23	249	322	338	241	130	131	55	1,489	2,751
		女性	24	267	198	223	166	132	173	79	1,262	
		計	47	516	520	561	407	262	304	134	2,751	
平成12年度実績		計	34	449	439	427	445	420	344	83	2,641	
平成7年度実績		計	28	354	507	531	472	375	210	83	2,560	

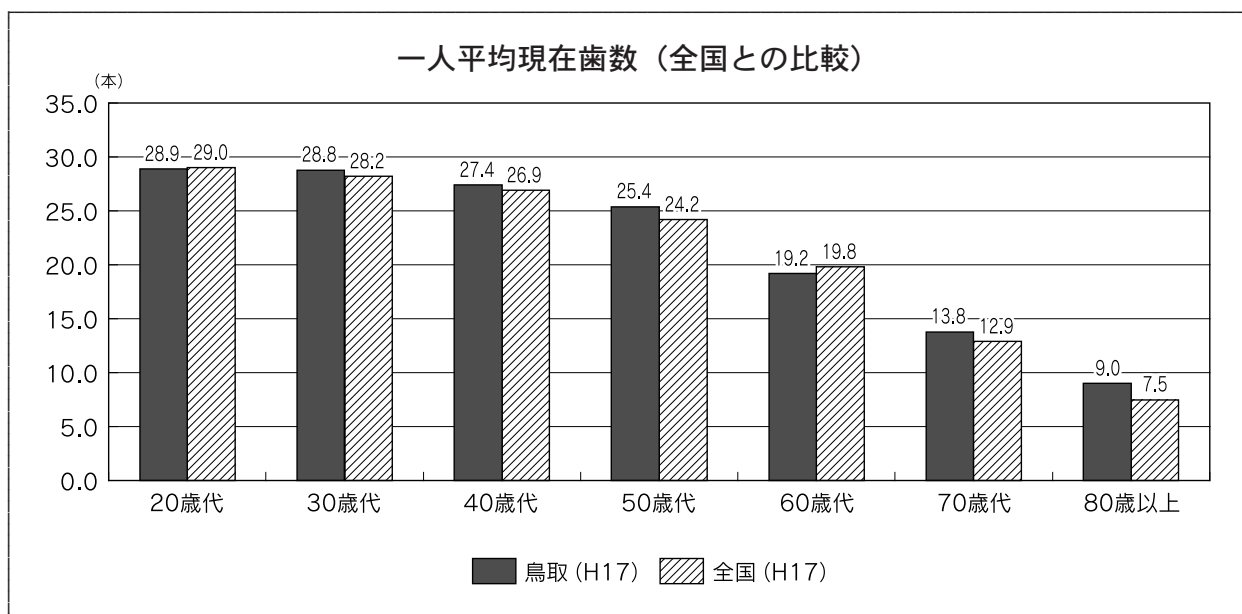
2 歯科健診による調査事項

(1) 現在歯の状況

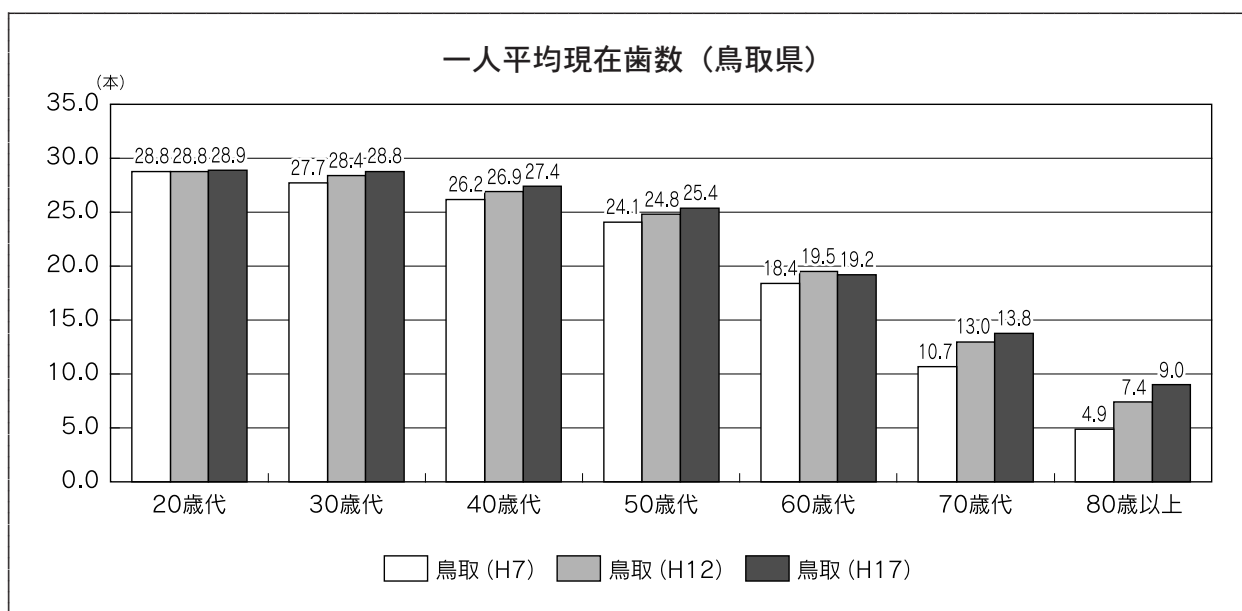
一人平均現在歯数は、24.5本で前回調査より1.0本増加している。前回調査同様に60歳代より20本を下回っている。80歳代以上においては、前回調査より1.6本増加し、9.0本という結果である。

全国に比べ20歳代、60歳代を除く年代でよい結果が得られた。特に80歳以上では本県の方が1.5本多い。

○全国との比較



○前回調査（平成7年度、平成12年度）との比較



(単位：本)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
鳥取 (H7) □	28.8	27.7	26.2	24.1	18.4	10.7	4.9
鳥取 (H12) ▒	28.8	28.4	26.9	24.8	19.5	13.0	7.4
鳥取 (H17) ■	28.9	28.8	27.4	25.4	19.2	13.8	9.0
全国 (H17) ▨	29.0	28.2	26.9	24.2	19.8	12.9	7.5

○性別での比較

過去調査と比較して、ほぼすべての年代において、増加傾向である。

男性よりも女性の方が現在歯数は少なく、特に80歳以上では、4.3本の差がある。

一人平均現在歯数（性別）

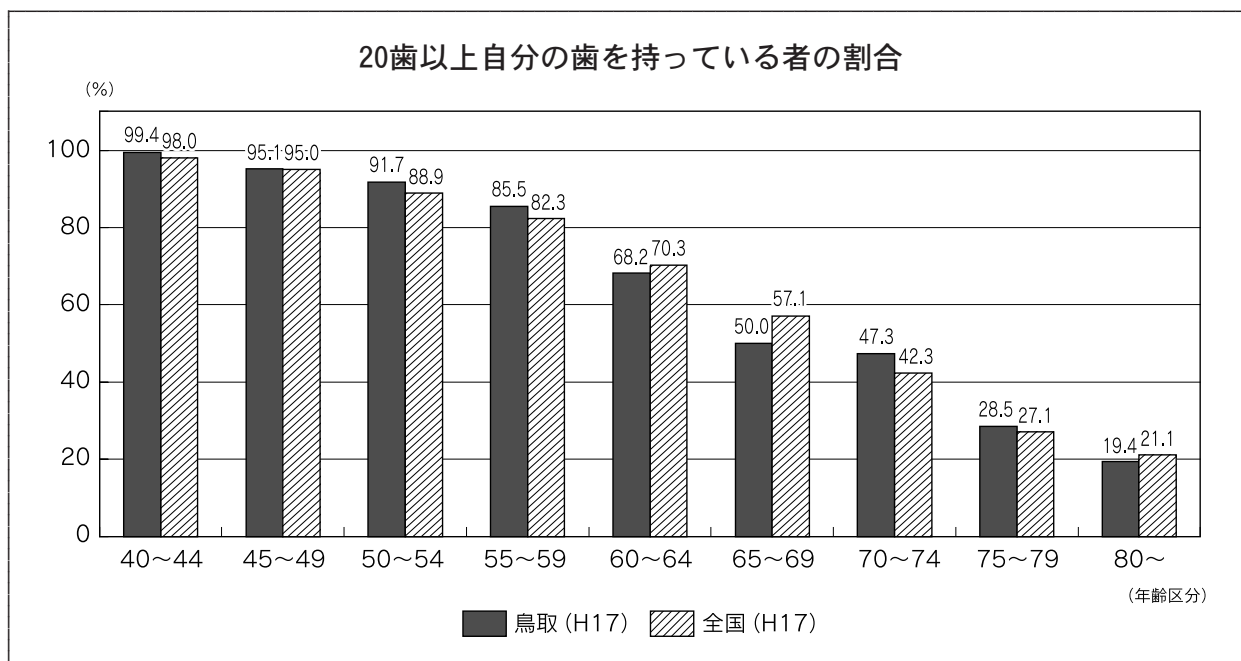
（単位：本）

	男 性			女 性		
	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年
20 歳代	28.9	28.9	29.1	28.7	28.7	28.7
30 歳代	27.8	28.6	28.9	27.6	28.2	28.7
40 歳代	26.3	27.1	27.7	25.9	26.4	27.1
50 歳代	24.5	25.5	25.9	23.6	23.8	24.6
60 歳代	18.5	20.0	20.2	18.2	18.5	18.3
70 歳代	13.7	14.5	15.0	9.3	11.6	13.0
80 歳以上	9.9	11.9	11.5	2.7	4.4	7.2

○全国との比較

60歳代では、全国平均より下回っている。特に、65～69歳の年齢階級では、7.1ポイントの差がある。

また、80歳以上において、全国調査では、21.1%であるが、本県では19.4%という結果であった。

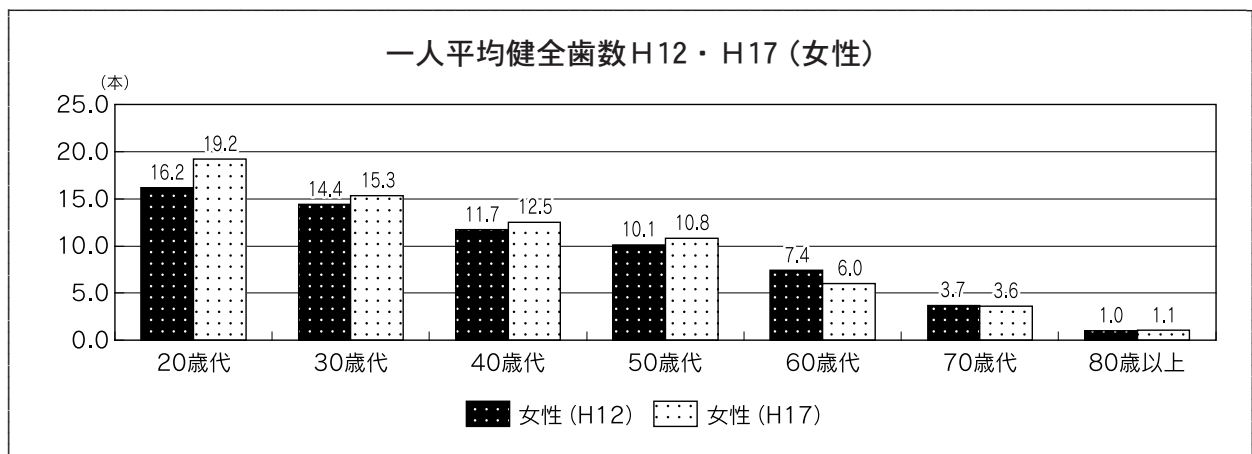
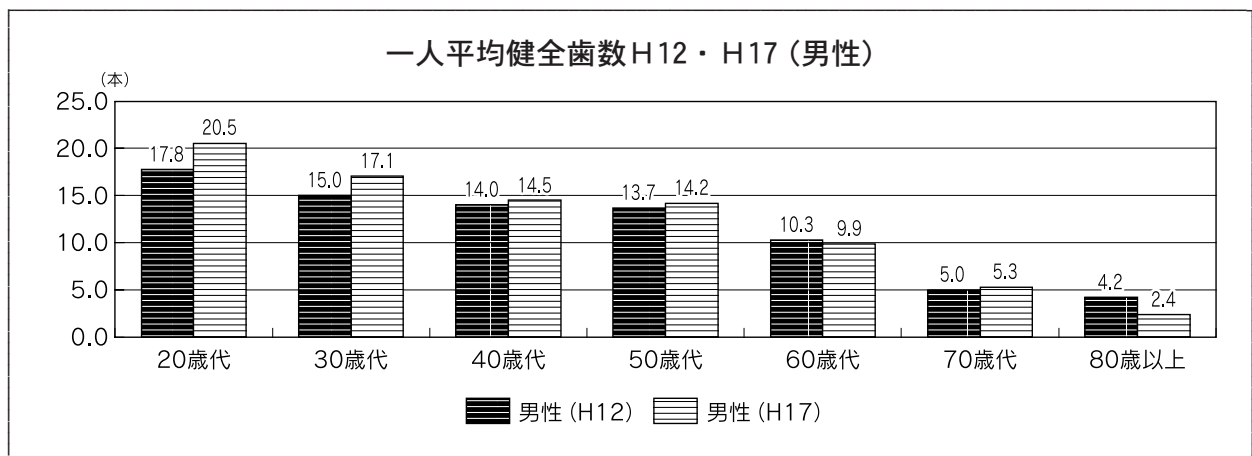
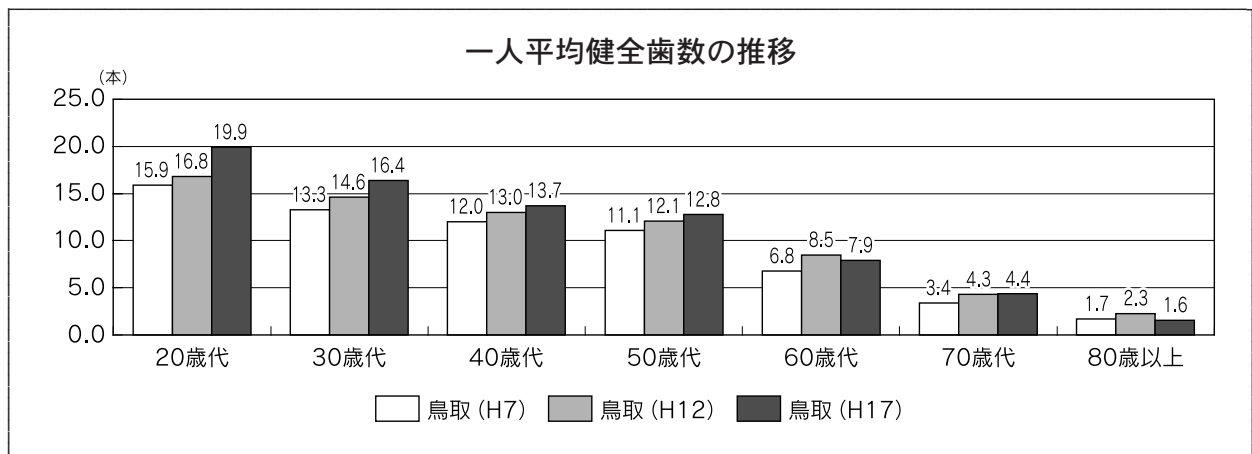


（単位：%）

年齢区分	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～
鳥取 (H17)	99.4	95.1	91.7	85.5	68.2	50.0	47.3	28.5	19.4
全国 (H17)	98.0	95.0	88.9	82.3	70.3	57.1	42.3	27.1	21.1

(2) 健全歯の状況

○前回調査（平成7年度、平成12年度）との比較



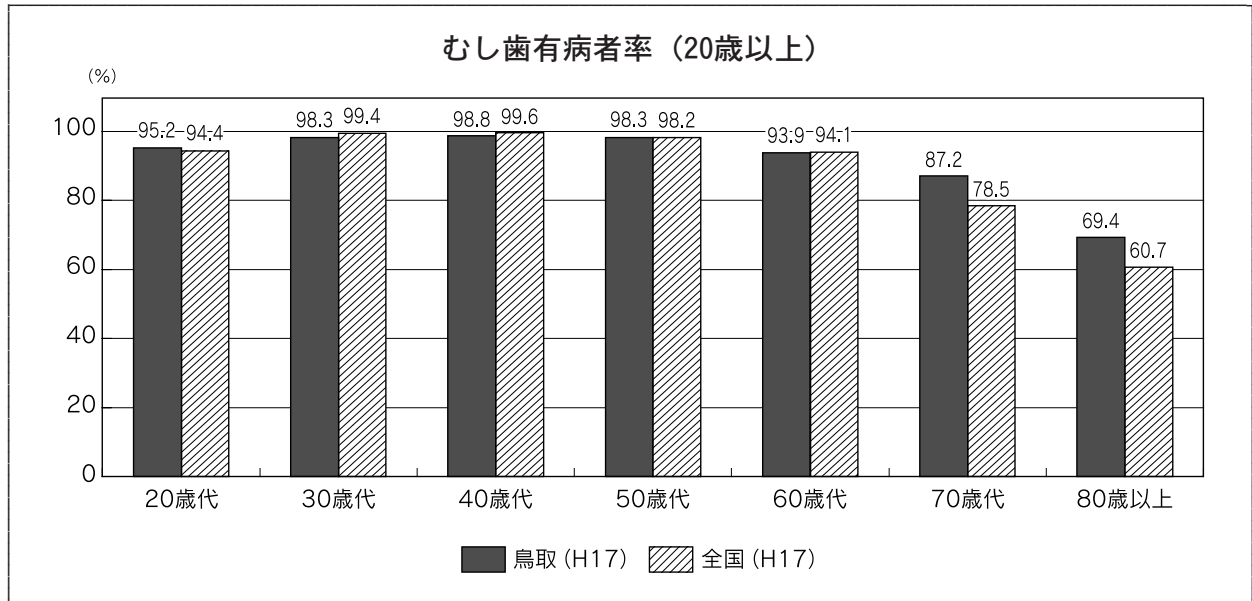
(単位：本)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
鳥取 (H7) □	15.9	13.3	12.0	11.1	6.8	3.4	1.7
鳥取 (H12) ■	16.8	14.6	13.0	12.1	8.5	4.3	2.3
鳥取 (H17) ▒	19.9	16.4	13.7	12.8	7.9	4.4	1.6
男性 (H12) ▨	17.8	15.0	14.0	13.7	10.3	5.0	4.2
男性 (H17) ▩	20.5	17.1	14.5	14.2	9.9	5.3	2.4
女性 (H12) ■	16.2	14.4	11.7	10.1	7.4	3.7	1.0
女性 (H17) □	19.2	15.3	12.5	10.8	6.0	3.6	1.1

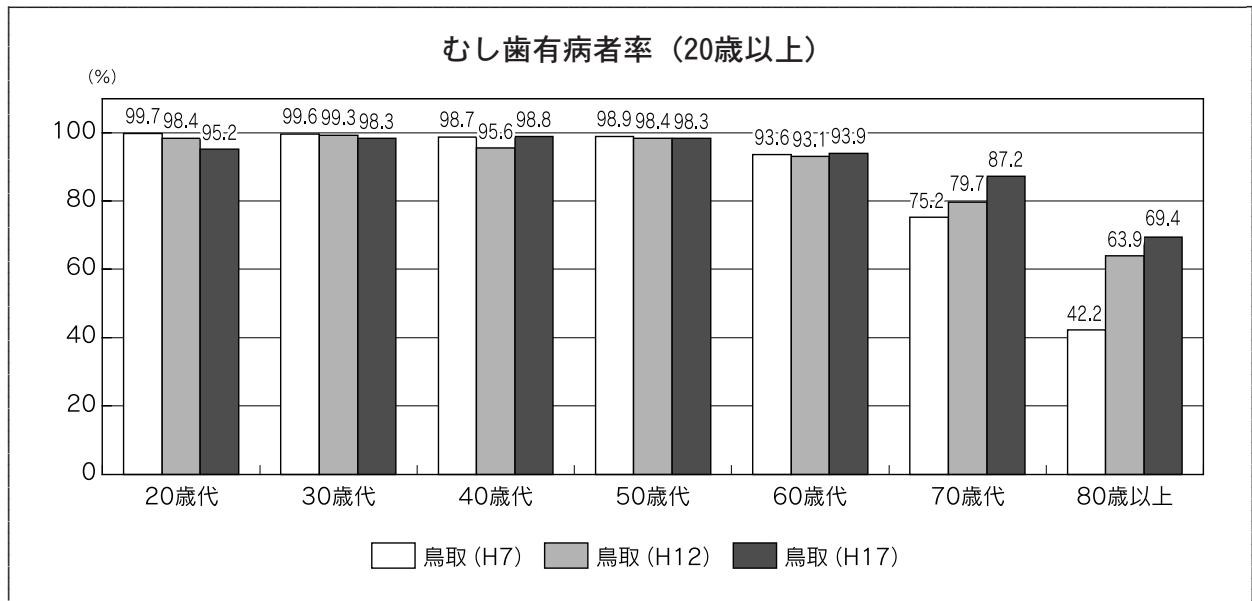
(3) むし歯の状況

全国調査に比べ70歳代、80歳以上では、8.7ポイントの差があり、本県の方が高い率を示している。

○全国との比較



○前回調査 (平成7年度、平成12年度) との比較



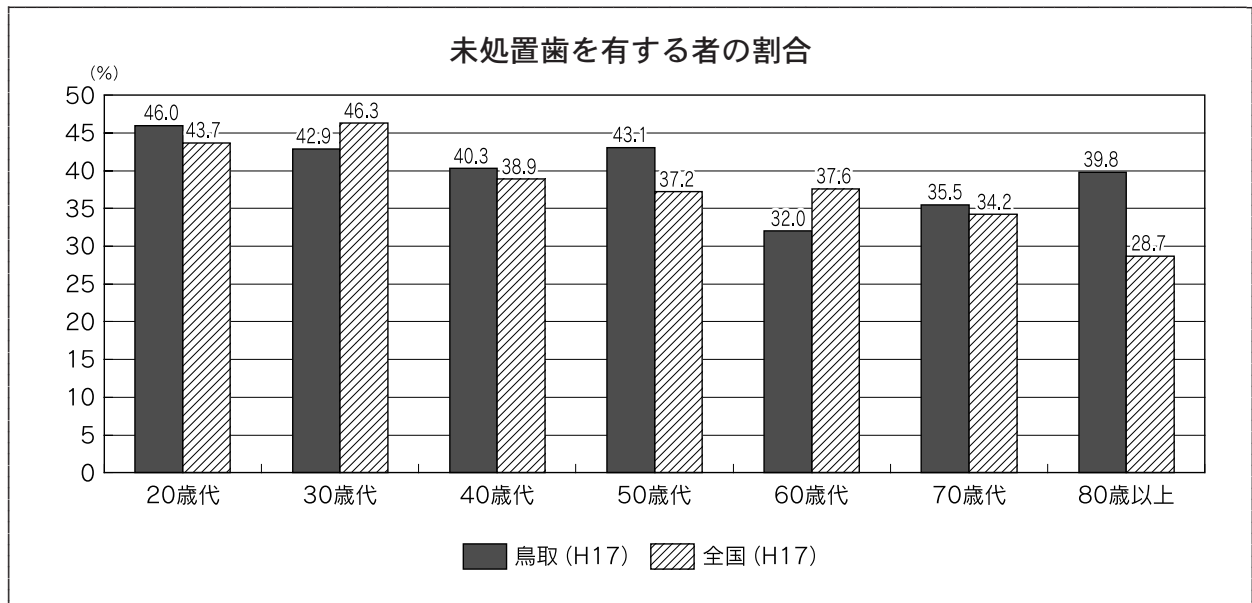
(単位：%)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
鳥取 (H7) □	99.7	99.6	98.7	98.9	93.6	75.2	42.2
鳥取 (H12) ▒	98.4	99.3	95.6	98.4	93.1	79.7	63.9
鳥取 (H17) ■	95.2	98.3	98.8	98.3	93.9	87.2	69.4
全国 (H17) ▨	94.4	99.4	99.6	98.2	94.1	78.5	60.7

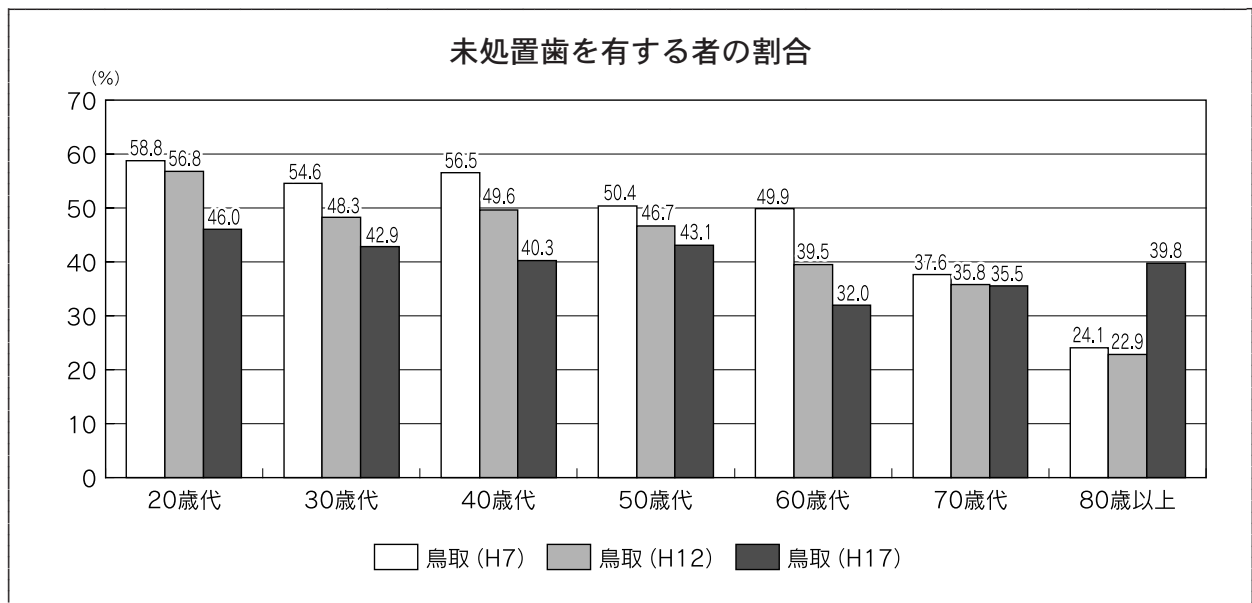
(4) 未処置歯の状況

過去2回の調査と比べると減少傾向にあるが、全国に比較すると30歳代、60歳代を除く年代で高い率を示している。

○全国との比較



○前回調査（平成7年度、平成12年度）との比較

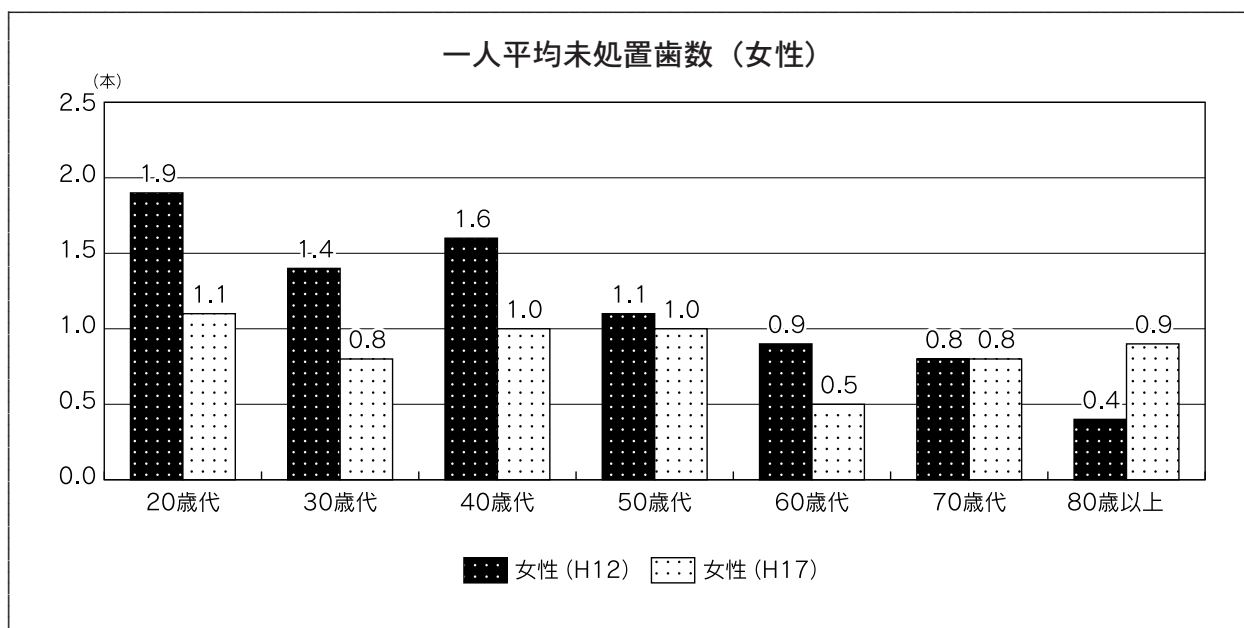
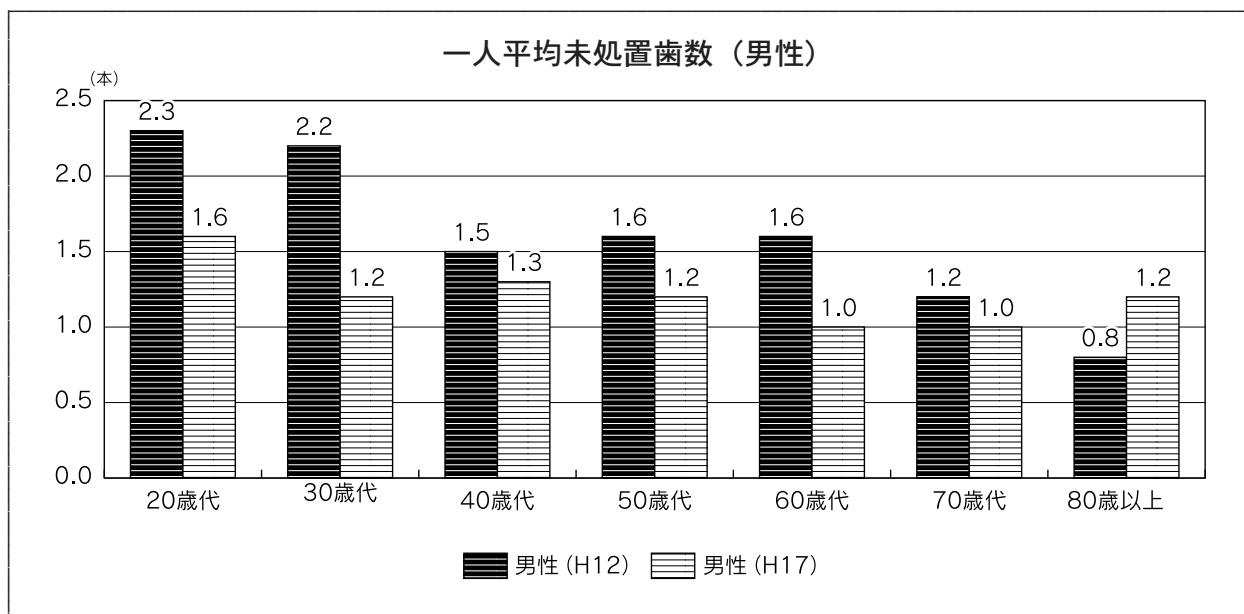


(単位：%)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
鳥取 (H7) □	58.8	54.6	56.5	50.4	49.9	37.6	24.1
鳥取 (H12) ■	56.8	48.3	49.6	46.7	39.5	35.8	22.9
鳥取 (H17) ■	46.0	42.9	40.3	43.1	32.0	35.5	39.8
全国 (H17) ▨	43.7	46.3	38.9	37.2	37.6	34.2	28.7

○一人平均未処置歯数（H12・H17）

過去調査に比較して、男女とも80歳以上を除くすべての年代が、減少傾向にある。



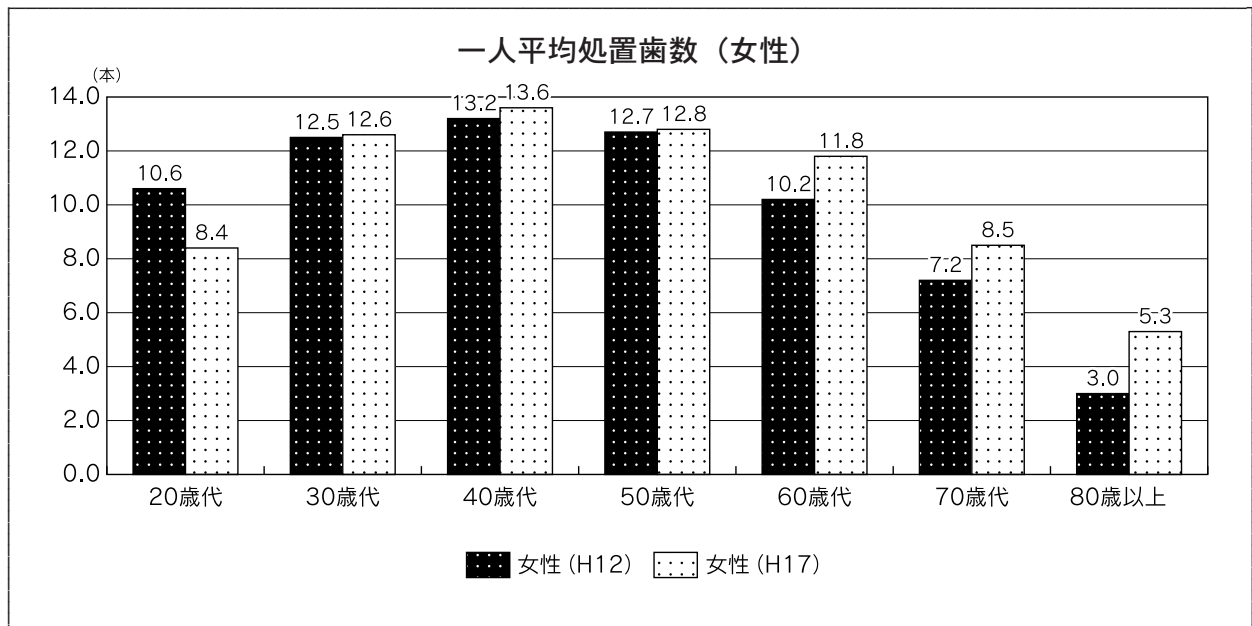
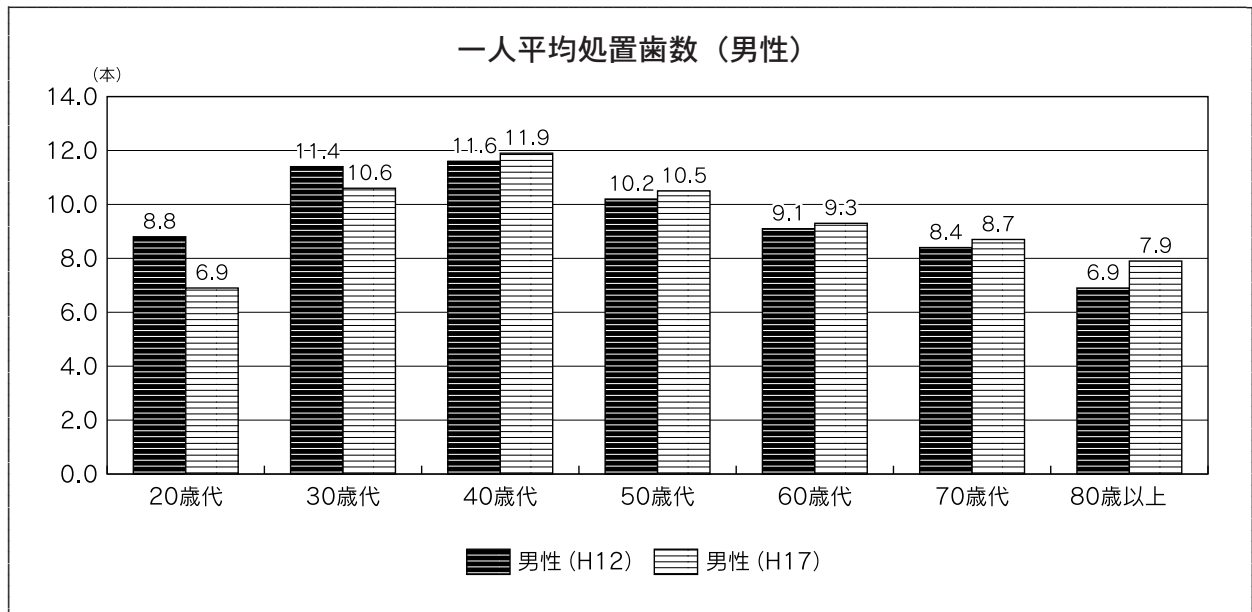
一人平均未処置歯数（男女別）

(単位：本)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
男性 (H12) ■	2.3	2.2	1.5	1.6	1.6	1.2	0.8
男性 (H17) ▨	1.6	1.2	1.3	1.2	1.0	1.0	1.2
女性 (H12) ■	1.9	1.4	1.6	1.1	0.9	0.8	0.4
女性 (H17) ▤	1.1	0.8	1.0	1.0	0.5	0.8	0.9

(5) 処置歯の状況

40歳代より、男女とも若干増加傾向にある。80歳以上の女性では、前回調査に比べ2.7本増加している。



一人平均処置歯数（男女別）

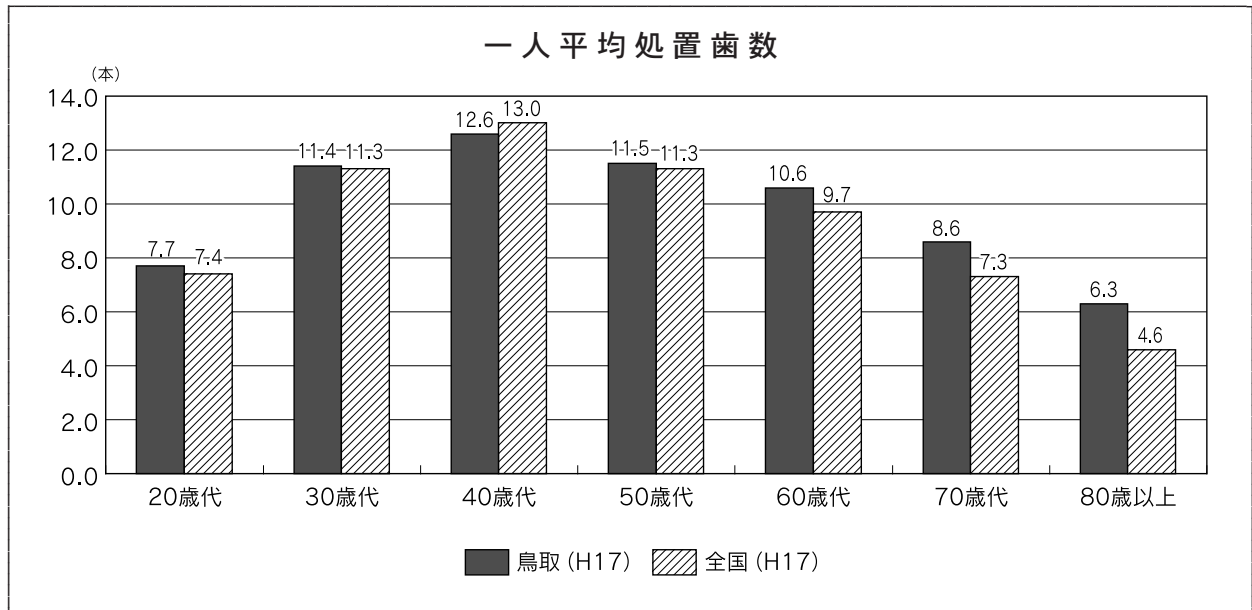
(単位：本)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
男性 (H12) ■	8.8	11.4	11.6	10.2	9.1	8.4	6.9
男性 (H17) ▨	6.9	10.6	11.9	10.5	9.3	8.7	7.9
女性 (H12) ■	10.6	12.5	13.2	12.7	10.2	7.2	3.0
女性 (H17) ▤	8.4	12.6	13.6	12.8	11.8	8.5	5.3

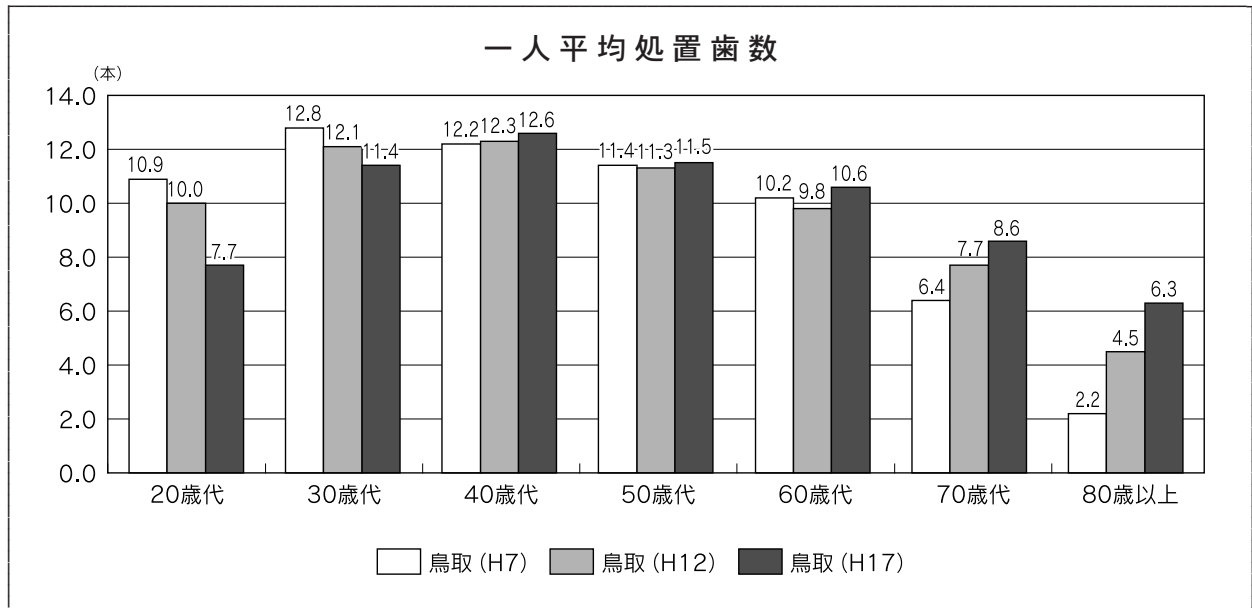
○全国との比較

全国に比べると40歳代を除くすべての年代で、本県の方が処置歯数が多い。

過去調査に比較すると、20歳代、30歳代は減少しているが、40歳代より増加傾向にある。



○前回調査（平成7年度、平成12年度）との比較



一人平均処置歯数

(単位：本)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
鳥取 (H7) □	10.9	12.8	12.2	11.4	10.2	6.4	2.2
鳥取 (H12) ▒	10.0	12.1	12.3	11.3	9.8	7.7	4.5
鳥取 (H17) ■	7.7	11.4	12.6	11.5	10.6	8.6	6.3
全国 (H17) ▨	7.4	11.3	13.0	11.3	9.7	7.3	4.6

(6) 喪失歯の状況

○前回調査（平成7年度、平成12年度）との比較

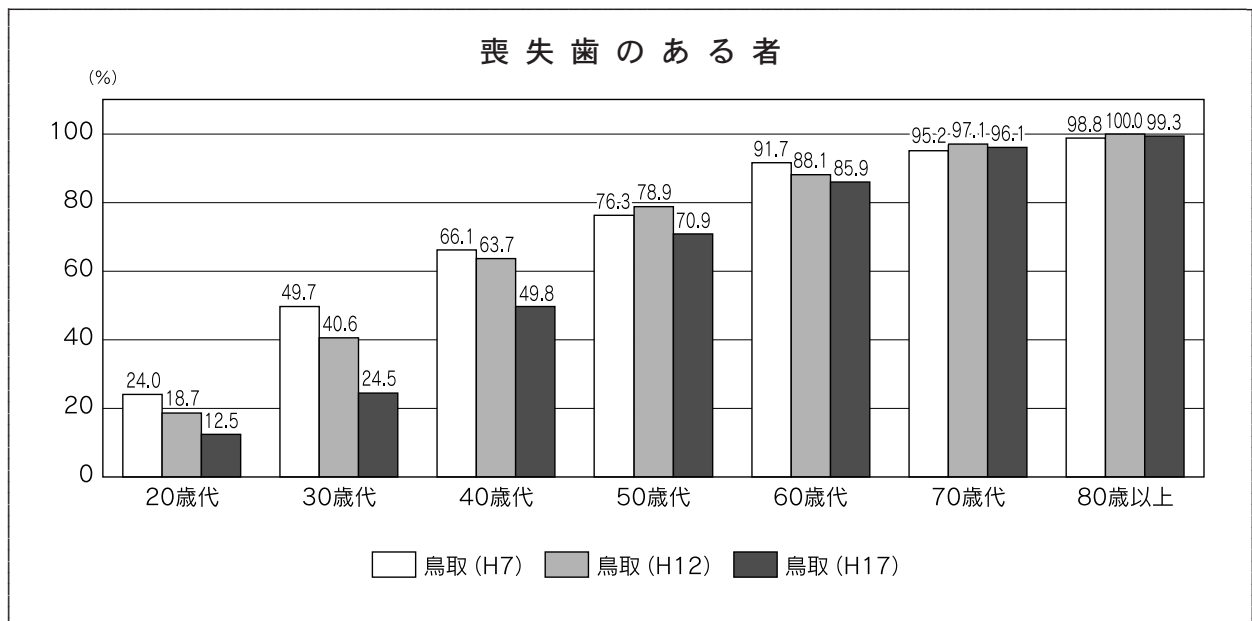
前回調査に比較して、すべての年代において減少傾向を示している。過去調査と同様に40歳代以降に急激に増加する傾向にある。

一人平均喪失歯は、4.4本であり、前回調査より0.8本減少している。

全国調査に比較すると、本県の方が、3.0本少ない。

	喪失歯のある者の割合 (%)			一人平均喪失歯数 (本)		
	平成7年	平成12年	平成17年	平成7年	平成12年	平成17年
鳥取県	65.6	63.4	52.1	5.2	5.2	4.4
全国	平成5年	平成11年	平成17年	平成5年	平成11年	平成17年
	58.0	60.1	66.0	5.9	5.9	7.4

○前回調査（平成7年度、平成12年度）との比較



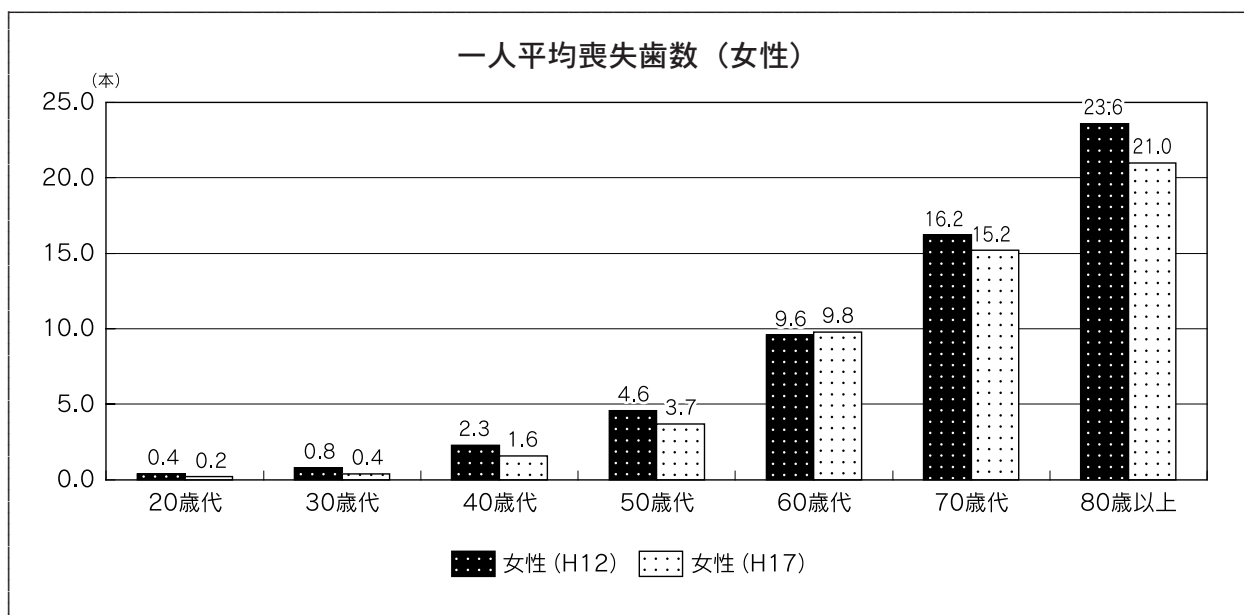
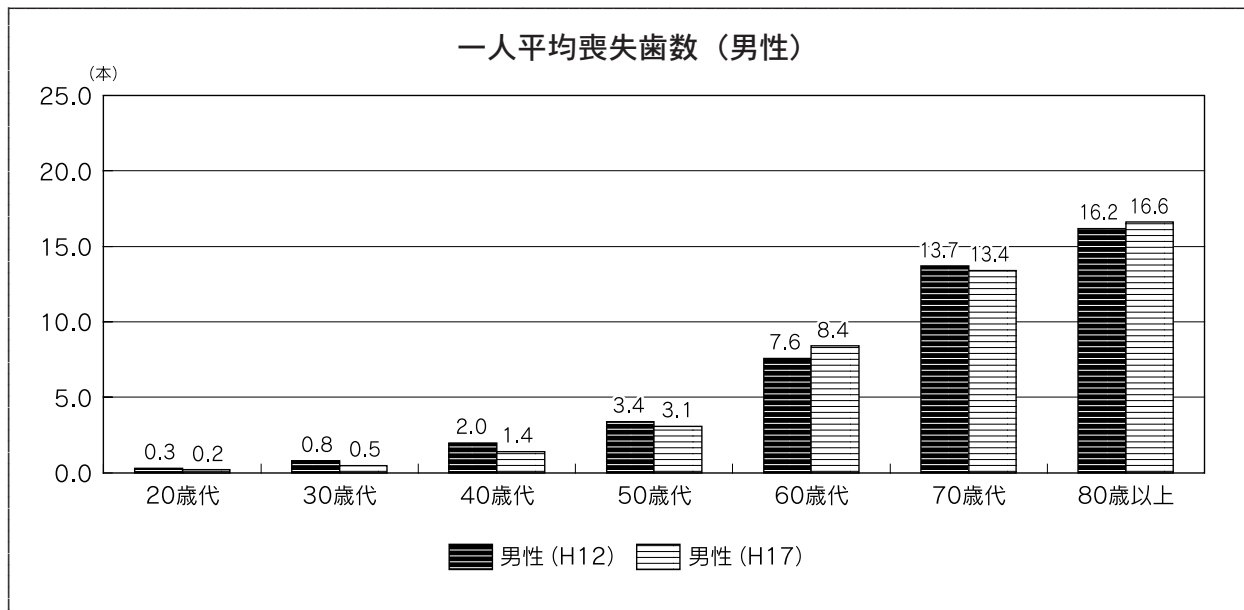
喪失歯のある者

(単位：%)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
鳥取 (H7) □	24.0	49.7	66.1	76.3	91.7	95.2	98.8
鳥取 (H12) ▒	18.7	40.6	63.7	78.9	88.1	97.1	100.0
鳥取 (H17) ■	12.5	24.5	49.8	70.9	85.9	96.1	99.3

○性別での比較

性別で比較すると、すべての年代において男性より女性の方が喪失歯が多い。特に、40歳代以降、その差が顕著になってくる。



一人平均喪失歯数（男女別）

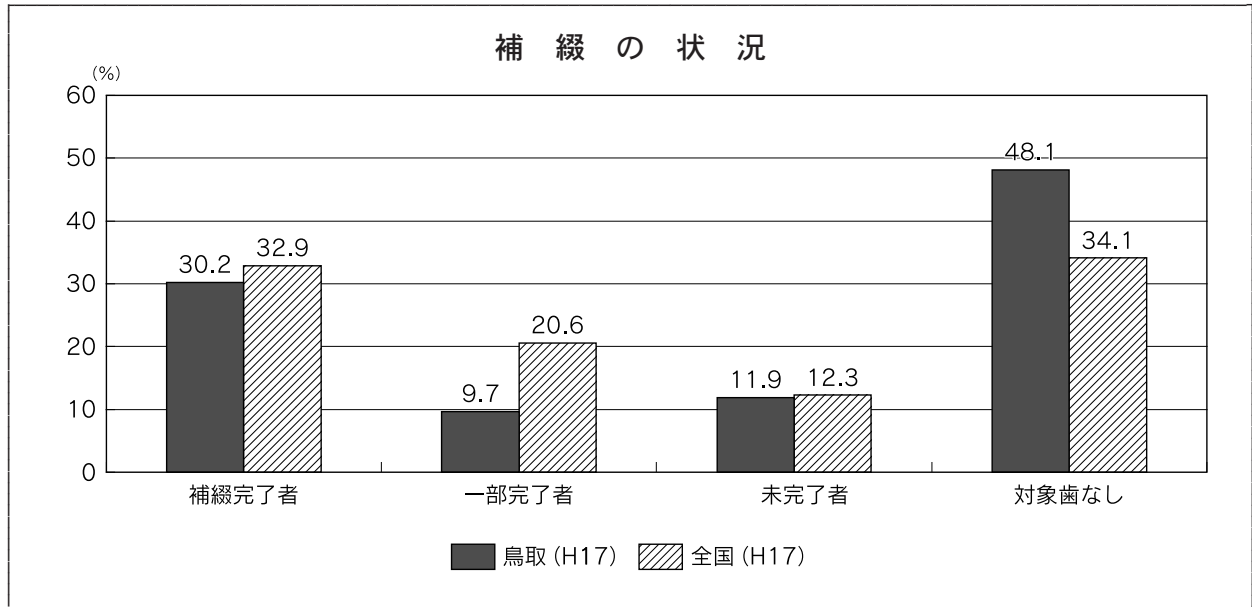
（単位：本）

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
男性 (H12) ■■■	0.3	0.8	2.0	3.4	7.6	13.7	16.2
男性 (H17) ▨▨▨	0.2	0.5	1.4	3.1	8.4	13.4	16.6
女性 (H12) ■■■	0.4	0.8	2.3	4.6	9.6	16.2	23.6
女性 (H17) ▨▨▨	0.2	0.4	1.6	3.7	9.8	15.2	21.0

(7) 補綴の状況

全国調査と比較すると、対象歯なしは、本県の方が48.1%で補綴不要者が14ポイント多い。
補綴完了者は、本県の方が30.2%で2.7ポイント低い。

○全国との比較



補綴の状況

(単位：%)

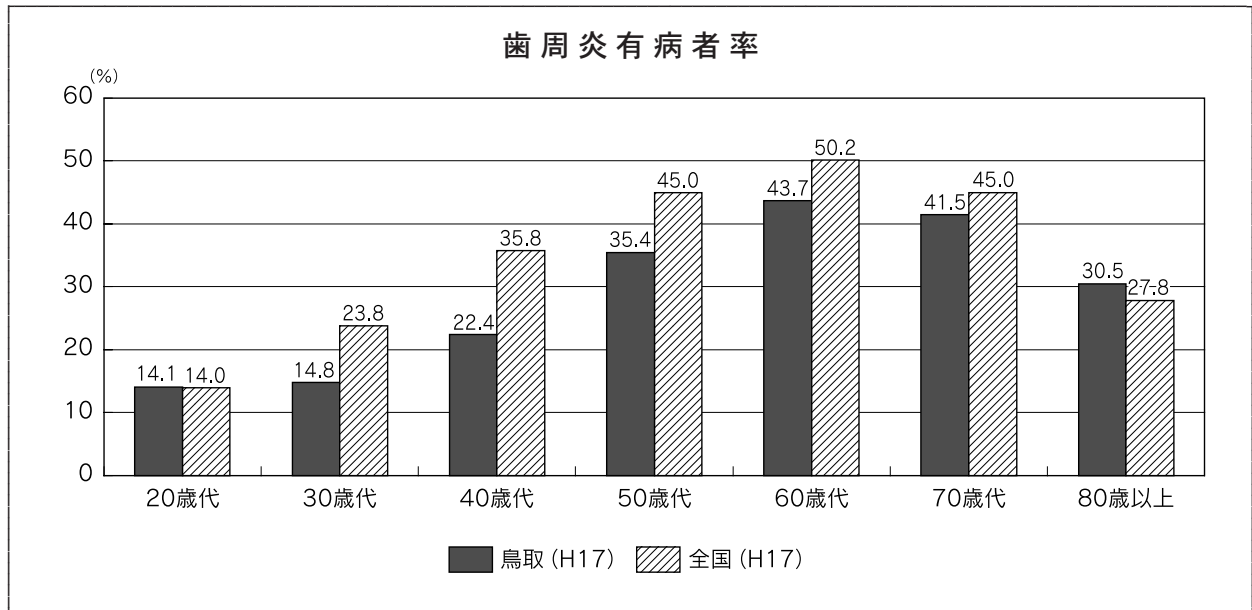
	補綴完了者	一部完了者	未完了者	対象歯なし
鳥取 (H17) ■	30.2	9.7	11.9	48.1
全国 (H17) ▨	32.9	20.6	12.3	34.1

*完了者+一部完了者+未完了者+対象歯なしを100として算出

(8) 歯周疾患（歯周炎）の状況

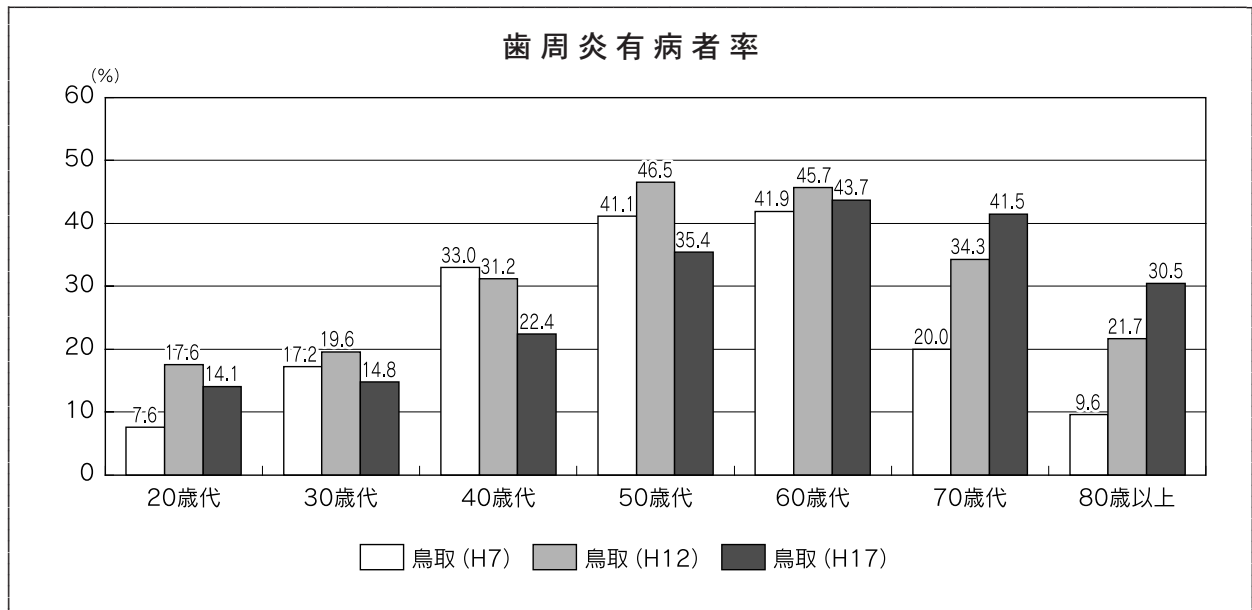
○全国との比較

全国調査と比較すると、80歳以上を除くすべての年代で本県の方が、低い率を示している。



○前回調査（平成7年度、平成12年度）との比較

前回同様に40歳代より増加し、60歳代では最も高い率を示している。



歯周炎有病者率の割合

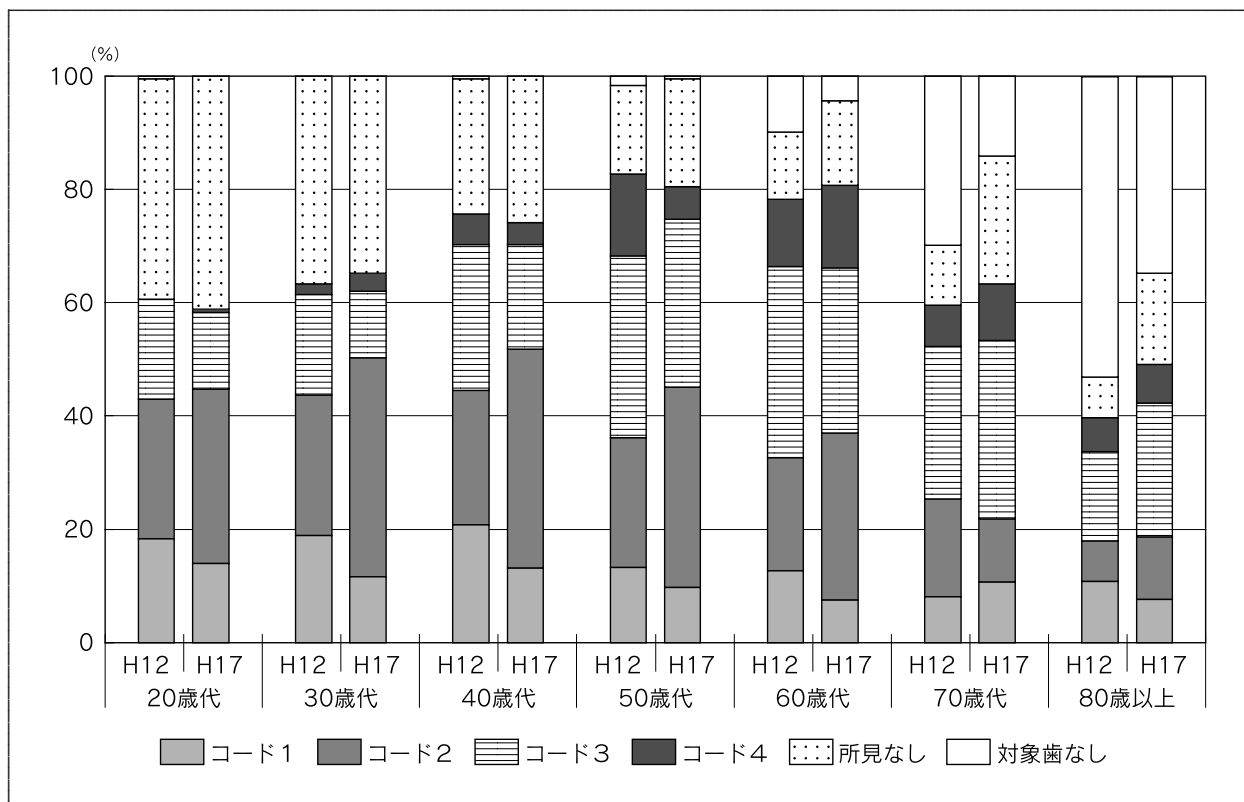
(単位：%)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
鳥取 (H7) □	7.6	17.2	33.0	41.1	41.9	20.0	9.6
鳥取 (H12) ■	17.6	19.6	31.2	46.5	45.7	34.3	21.7
鳥取 (H17) ■	14.1	14.8	22.4	35.4	43.7	41.5	30.5
全国 (H17) ▨	14.0	23.8	35.8	45.0	50.2	45.0	27.8

注) 歯周炎有病者率とは、4mm以上の歯周ポケットを有する者の割合

○歯肉の所見の有無

・ 前回調査（平成12年度）との比較



(単位：%)

	所見のあるもの										所見なし		対象歯なし	
	総数		コード1		コード2		コード3		コード4		H12	H17	H12	H17
	H12	H17	H12	H17	H12	H17	H12	H17	H12	H17				
20歳代	60.6	58.9	18.3	13.9	24.7	30.9	17.6	13.5	0.0	0.6	39.0	41.1	0.5	0.0
30歳代	63.3	65.1	18.9	11.6	24.8	38.7	17.8	11.8	1.8	3.1	36.7	34.9	0.0	0.0
40歳代	75.6	74.2	20.8	13.1	23.7	38.7	25.8	18.5	5.4	3.9	23.9	25.8	0.5	0.0
50歳代	82.7	80.5	13.3	9.7	22.9	35.4	32.1	29.7	14.4	5.7	15.7	19.0	1.6	0.5
60歳代	78.3	80.7	12.6	7.5	20.0	29.5	33.8	29.1	11.9	14.6	11.9	15.0	9.8	4.3
70歳代	59.6	63.3	8.1	10.7	17.2	11.1	27.0	31.5	7.3	10.0	10.5	22.6	29.9	14.1
80歳以上	39.8	49.2	10.8	7.6	7.2	11.0	15.7	23.7	6.0	6.8	7.2	16.1	53.0	34.7

コード0 歯肉に炎症の所見が認められない

コード1 プロービング後に出血が認められる

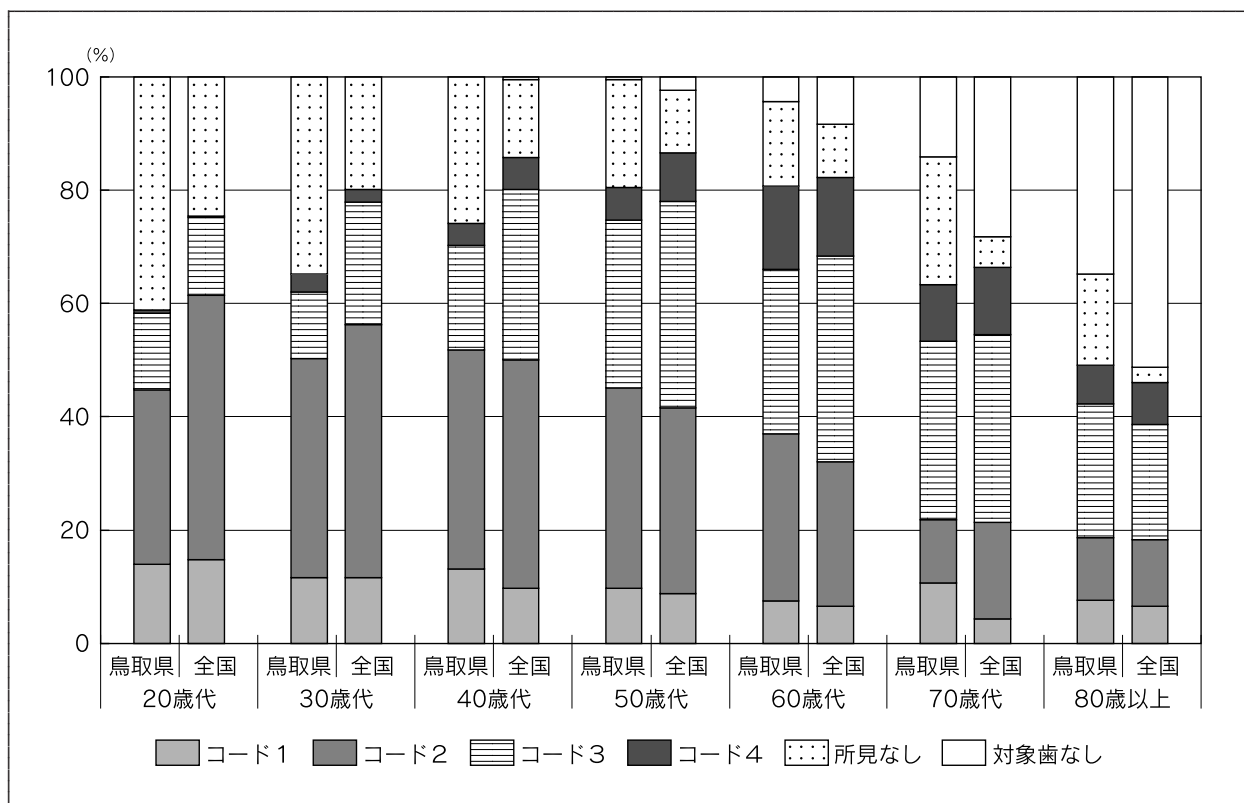
コード2 歯石の沈着（歯肉縁下4mmまでのプロービングによる検出を含む）

コード3 ポケットの深さが4mm以上6mm未満

コード4 ポケットの深さが6mm以上

・全国（鳥取県H17・全国H17）との比較

所見のある者の総数は、すべての年代において本県の方が、低い率を示している。



(単位：%)

	所見のあるもの										所見なし		対象歯なし	
	総数		コード1		コード2		コード3		コード4					
	鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県	全国
20歳代	58.9	75.5	13.9	14.8	30.9	46.7	13.5	13.7	0.6	0.3	41.1	24.5	0.0	0.0
30歳代	65.1	80.1	11.6	11.6	38.7	44.7	11.8	21.6	3.1	2.3	34.9	19.9	0.0	0.0
40歳代	74.2	85.9	13.1	9.7	38.7	40.3	18.5	30.1	3.9	5.7	25.8	13.8	0.0	0.4
50歳代	80.5	86.6	9.7	8.8	35.4	32.8	29.7	36.4	5.7	8.6	19.0	11.1	0.5	2.3
60歳代	80.7	82.4	7.5	6.6	29.5	25.5	29.1	36.3	14.6	13.9	15.0	9.4	4.3	8.2
70歳代	63.3	66.3	10.7	4.3	11.1	17.1	31.5	33.1	10.0	11.9	22.6	5.4	14.1	28.2
80歳以上	49.2	46.1	7.6	6.5	11.0	11.8	23.7	20.4	6.8	7.4	16.1	2.6	34.7	51.4

- コード0 歯肉に炎症の所見が認められない
- コード1 プロービング後に出血が認められる
- コード2 歯石の沈着（歯肉縁下4mmまでのプロービングによる検出を含む）
- コード3 ポケットの深さが4mm以上6mm未満
- コード4 ポケットの深さが6mm以上